

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成 23 年 2 月 10 日
【四半期会計期間】	平成22年度第3四半期 (自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日)
【会社名】	推 曙沃舜 鞋 卅肇

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

連結会計年度

E02127)

第2【事業の状況】

1【生産、受注及び販売の状況】

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」を適用しており、また、平成22年4月の社内管理区分変更に伴い、「汎用機事業」及び「油圧機器事業」の名称を各々「モーターサイクル&エンジン事業」及び「精密機械事業」に変更するとともに、従来、「車両事業」に含めていた破砕機部門を「プラント・環境事業」に、「汎用機事業」に含めていたロボット部門を「精密機械事業」に各々含めており、更に平成22年10月の組織改正に伴い、「船舶事業」の名称を「船舶海洋事業」に変更しています。

プラント・環境事業

連結受注高は、海外向け大型プラントの受注があった前年同期と比べ、331億円減の280億円となりました。
連結売上高は、海外向け大型プラントの売上などにより、前年同期比19億円増収の176億円となりました。
営業損益は、既受注案件の順調な進捗に伴う収益好転などにより、前年同期比20億円改善し、11億円の営業利益となりました。

モーターサイクル&エンジン事業

連結売上高は、新興国での販売増などにより、前年同期比28億円増収の459億円となりました。
営業損益は、14億円の営業損失となりました。円高の影響を受けたものの、売上の増加に加え、緊急収益改善策に
E02127)

第4【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

月別	平成22年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最高(円)	298	290	264	227	239	249	242	267	281
最低(円)	254	236	213	211	209	223	219	210	253

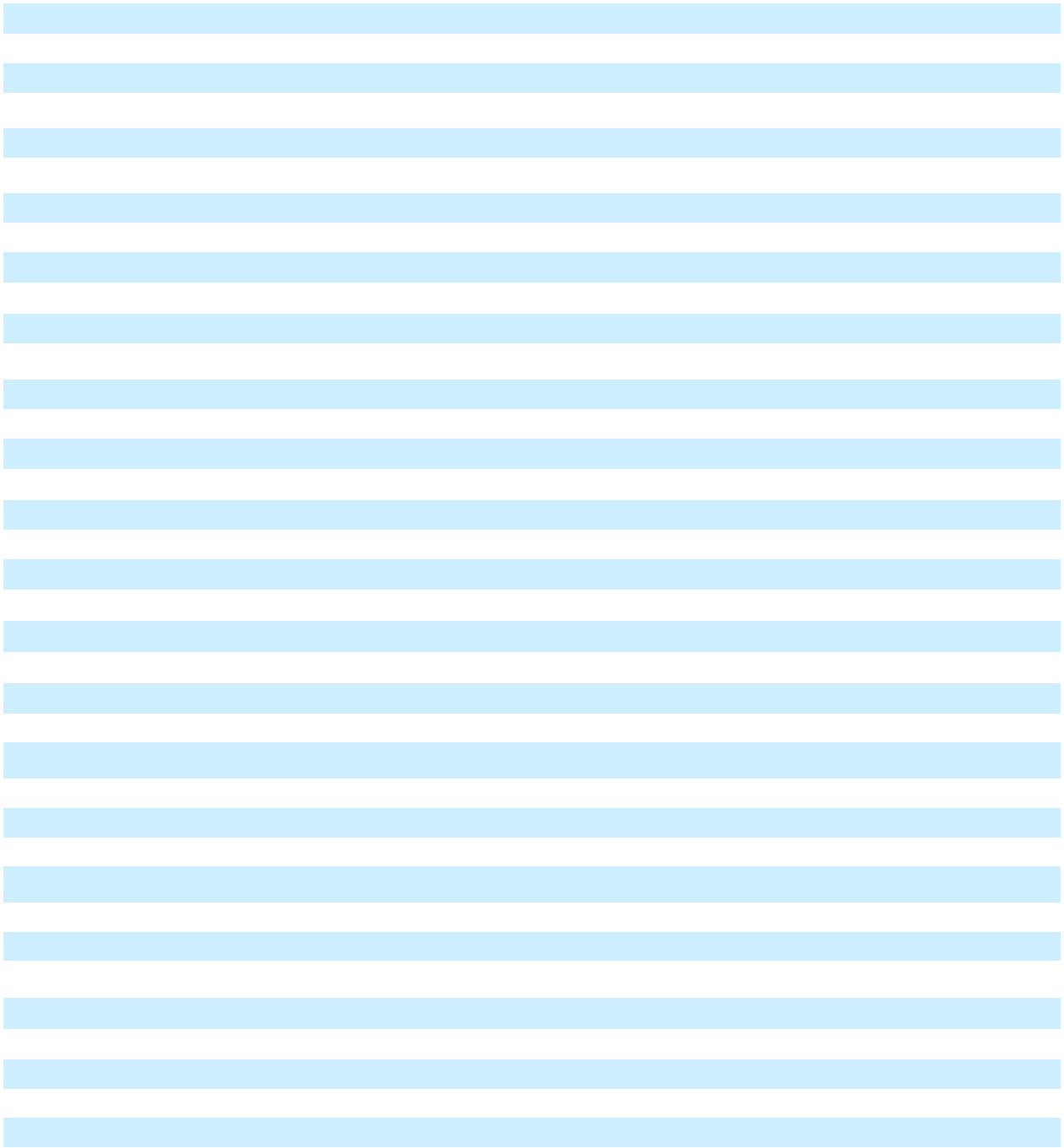
(注) 最高・最低株価は、東京証券取引所市場第一部における株価である。

3【役員の状況】

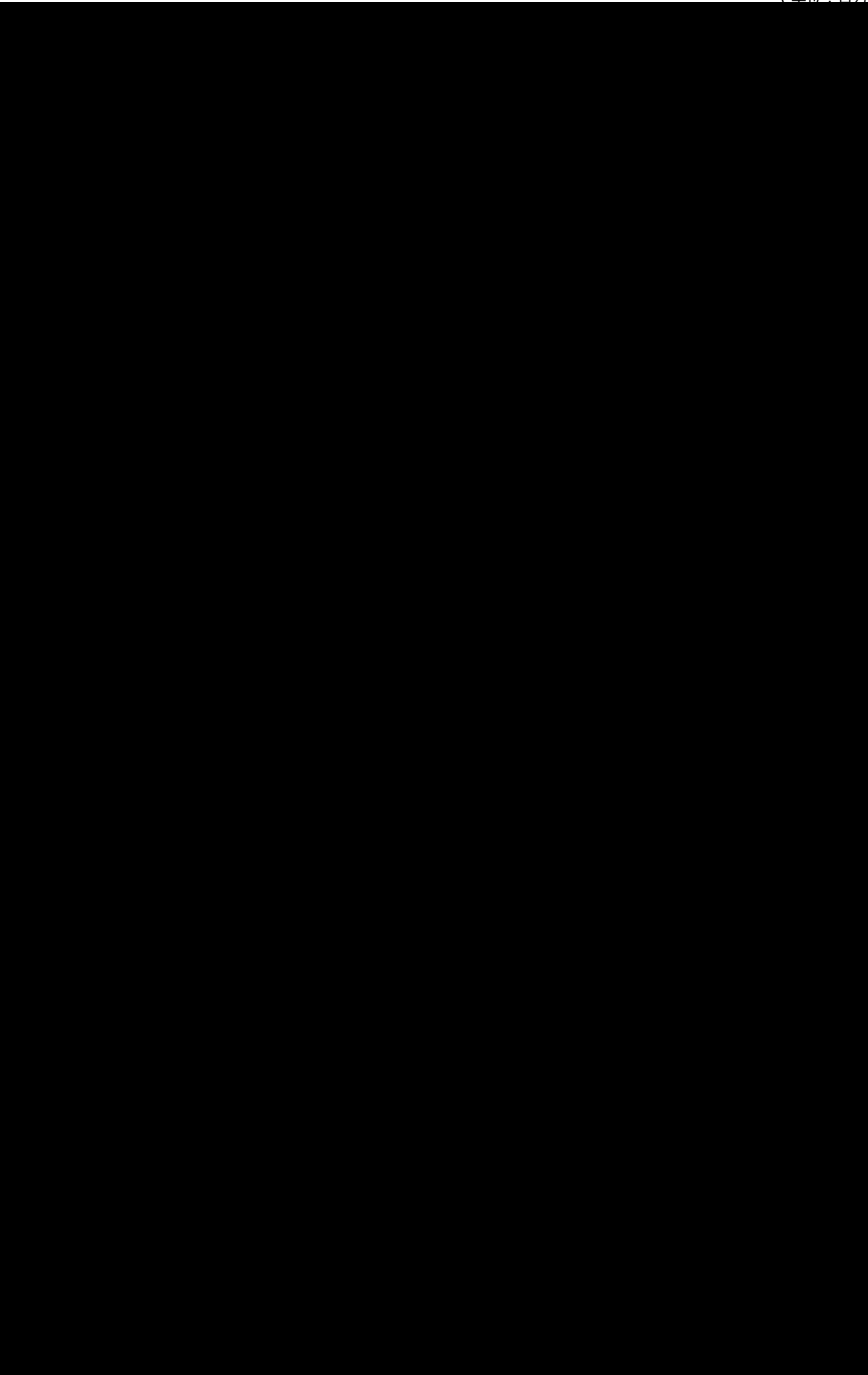
前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期報告書提出日までの役員の異動は、次のとおりです。

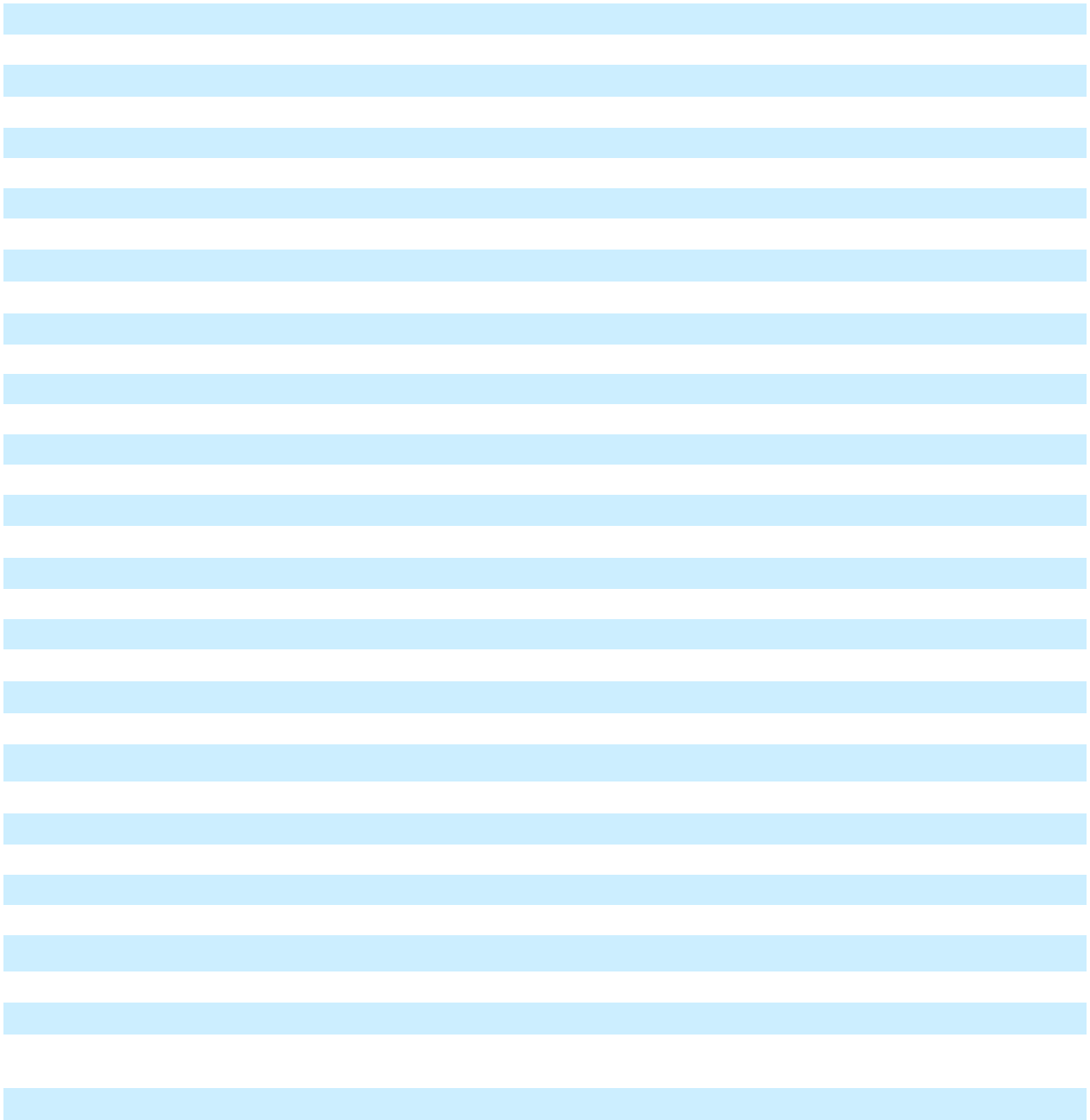
役職の異動

新役名	新職名	旧役名	旧職名	氏名	異動年月日
常務取締役	船舶海洋カンパニー	常務取締役		神林 伸光	平成22年10月1日
代表取締役	プレジデント	(非常勤)			
常務取締役	プラント・環境カンパニー	取締役		林 敏和	平成22年10月1日
代表取締役	プレジデント	(非常勤)			
常務取締役	精密機械カンパニー	取締役		園田 誠	平成22年10月1日
代表取締役	プレジデント	(非常勤)			



(単位：百万円)





【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

当第3四半期連結累計期間
(自平成22年4月1日
至平成22年12月31日)

1 連結の範囲に関する事項の変更

(1) 連結の範囲の変更

第1四半期連結会計期間より、2社について新たに設立したため連結の範囲に含め、従来連結子会社であった1社は、他の連結子会社に吸収合併され消滅したため、連結の範囲から除外した。

第2四半期連結会計期間より、2社について新たに設立したため連結の範囲に含め、他の2社については、会社を清算したため連結の範囲から除外した。

また、第3四半期連結会計期間より、1社について新たに設立したため連結の範囲に含め、従来連結子会社であった株式会社川崎造船、株式会社カワサキプレシジョンマシナリ及びカワサキプラントシステムズ株式会社の3社については、当社に吸収合併され消滅したため、連結の範囲から除外した。

(2) 変更後の連結子会社の数

【表示方法の変更】

当第3四半期連結累計期間
(自平成22年4月1日
至平成22年12月31日)

5 棚卸資産に含まれる未実現損益の消去

一部の製品について、前連結会計年度、又は、直前の四半期連結会計期間から取引状況に大きな変化がないと認められる場合には、前連結会計年度、又は、直前の四半期連結会計期間で使用した損益率や合理的な予算制度に基づく損益率

3 配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)
------	-------	-----------------

E02127)

(注) 1 調整額の内訳は以下のとおりである。

(企業結合関係)

前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
1株当たり四半期純損失金額 2.41円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載していない。	1株当たり四半期純利益金額 9.47円 潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益金額 9.33円

(注) 1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額()及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりである。

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
B 苳晒脛庵 菱 睨媮鷹瀝硇駝 璩 販 龍茲创 茲创 茲创 冕聘蛔倭 冕聘蛔倭 菅窺賀菘墉販		

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年2月10日

川崎重工業株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員